



LOGOS カマドラム No.81064145

この度は、本商品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。ご使用前に、この説明書をよく読んで正しく組み立ててください。また、事故やけが、器具の破損などを防ぎ、安全に正しくご使用いただくために、注意事項は必ずお守りください。この取扱説明書は、大切に保管してください。

組立て・取扱説明書

■ ご使用前に

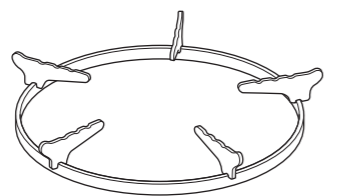
- ① パーツ類の破損、溶接外れなどが無い確認する。
(破損が見つかった場合は使用しないでください)
- ② 革手袋などを着用する。
- ③ 消火用の水をバケツなどに入れておく。
※ 火力が強すぎると、熱により変形・変色する場合がありますので、ご了承ください。

■ 組み立て方法

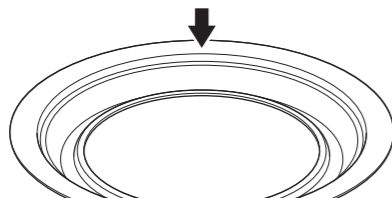
図にしたがって、下から順に組み立ててください。

【たき火・かまど調理スタイル】

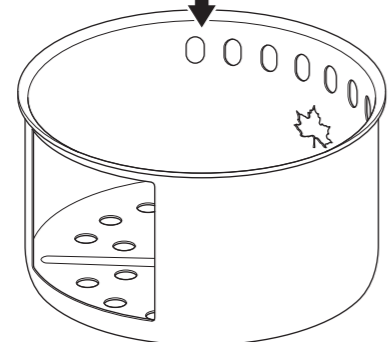
ゴトク



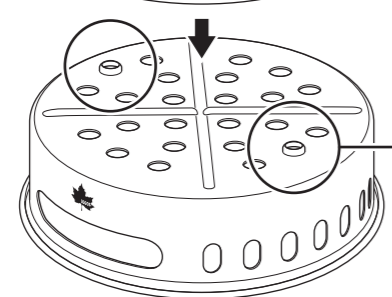
ゴトク受け



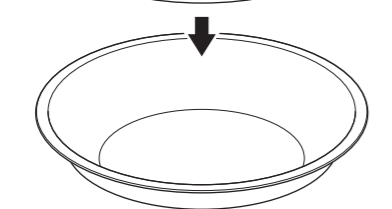
カマド



火床



灰受け

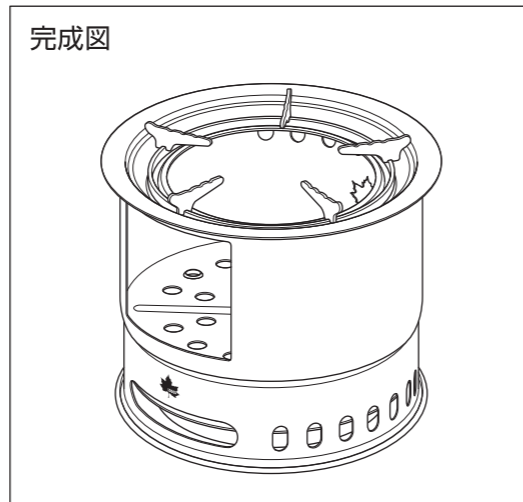


注意

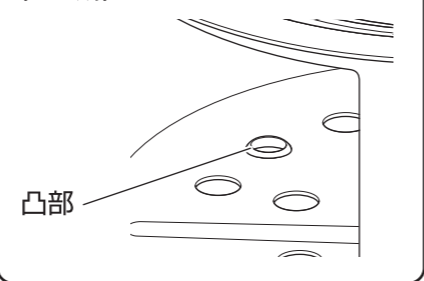


- 組み立て・撤収、着火・消火、調理、お手入れなどの際は、必ず革手袋を着用する。(やけど、鋭利な部分でけがのおそれ)
- 洗浄時は、ゴム手袋などを着用する。

完成図



火床の凸部を
カマドの穴と組み合わせる
(2か所)



凸部

使用上の注意

● 事故やけが、器具の損傷を防ぐため、次の事項を必ず守ってください。



警告

火災のおそれあり

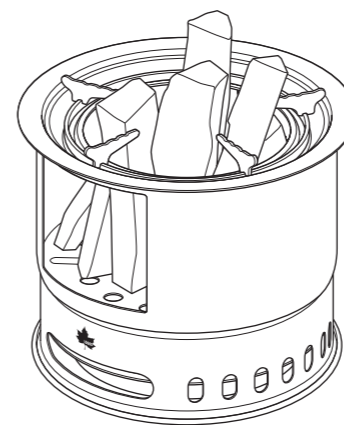
- ジェル状着火剤を使用する場合は、ジェルが灰受けに落ちないようにする。(灰受けに落ちると、異常燃焼のおそれ)
- 着火剤や燃料の代わりにガソリン、灯油、ガス、アルコールなどを使用しない。
- 本体真下および灰受けの底面が高温になったり、開口部から周囲に炭などがこぼれ落ちることがあるため、熱の影響を受けても問題のない地面に設置する。
- 設置面を焦がすおそれがあるため、木製などの焦げやすいテーブルや芝生、ウッドデッキ上などでは使用しない。
- 屋内やテント内、タープの下では使用しない。
- 強風・雨天時は使用しない。
- 残り火の始末や灰の処理、撤収は、完全に燃え尽きて、本体が冷えたことを確認してから行う。
- 燃料を入れすぎない。(炎が高く上がったり、本体の変形・変色のおそれ)
- カマド側面の開口部から、薪がはみ出ないようにする。
- 起伏や傾斜がない所に設置し、必ず安定した状態で使用する。
- 使用済みの炭を入れたまま、持ち運ばない。

やけど、けがのおそれあり

- 着火後は、本体を移動させない。また、素手では絶対に触らない。
- 着火後は、顔などを近づけない。また、燃えやすい物の周りで使用しない。(炭がはぜたり火の粉などが飛ぶおそれ)
- お子様やペットを本体の周りで遊ばせない。
- お子様には、本体の組み立てや撤収をさせない。
- 組み立て、分解、着火、消火、調理、お手入れ、片付けの際は、革手袋などを着用し、やけどや鋭利な部分でのけがなどに注意する。
- 鍋や焼網などの調理器具を使用する場合は、ゴトクの上に確実に載せ、安定していることを確認する。
- 本体に水をかけて消火しない。(急激な温度変化による破損のおそれ、また高温の水蒸気が発生し、やけどのおそれ)
- 鋭利な部分があるため洗浄時は、ゴム手袋などを着用する。

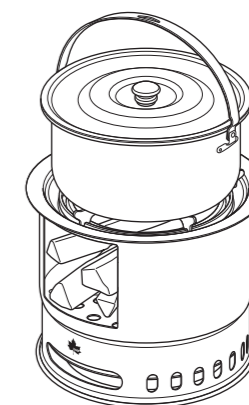
たき火を楽しむ！

- ゴトクに薪を立てかけることで、より効率よく薪を燃やすことができます。
- ゴトクを外した状態でも使用できます。



かまど調理を楽しむ！

- ゴトクの上に鍋やダッチオーブンを載せることで、簡単にかまど調理を楽しめます。
- 側面の開口部から、薪を継ぎ足すことができます。



燃料について

■ 市販の薪を使用する

- ① 焚き付けを置く
 - ・ カマドの中心に、枯葉や小枝などの燃えやすい物を置く。
- ② 細い薪→大きい薪の順に積み上げる
 - ・ たき火として使用する場合は、空気の通り道を作りながら、円錐形に組む。
 - ・ かまど調理の場合は、カマド側面の開口部から薪がはみ出ないように押し込む。(はみ出すほど大きい薪や枝は、あらかじめカットしておく)
- ③ 着火する
 - ・ 柄の長いライターなどで着火剤に着火する。
 - ・ 着火後しばらくは、なるべく薪を動かさずに様子を見る。



警告

- カマド側面の開口部から、薪がはみ出ないようにする。(火災、やけどのおそれ)
- ※ 薪の一部がはみ出すような場合でも、燃えている部分はカマド内に入るように、火ばさみで押し込むなどして調整してください。
- ゴトクの上に薪を載せない。

続きは裏面を見てください。

- 廃棄は、お住まいの地域のごみ分別方法にしたがってください。
- 製品の仕様は予告なく変更する場合があります。
- 本体やパーツは熱により変形や変色、表面の剥がれなどが発生します。ご了承ください。

Designed by LOGOS CORPORATION

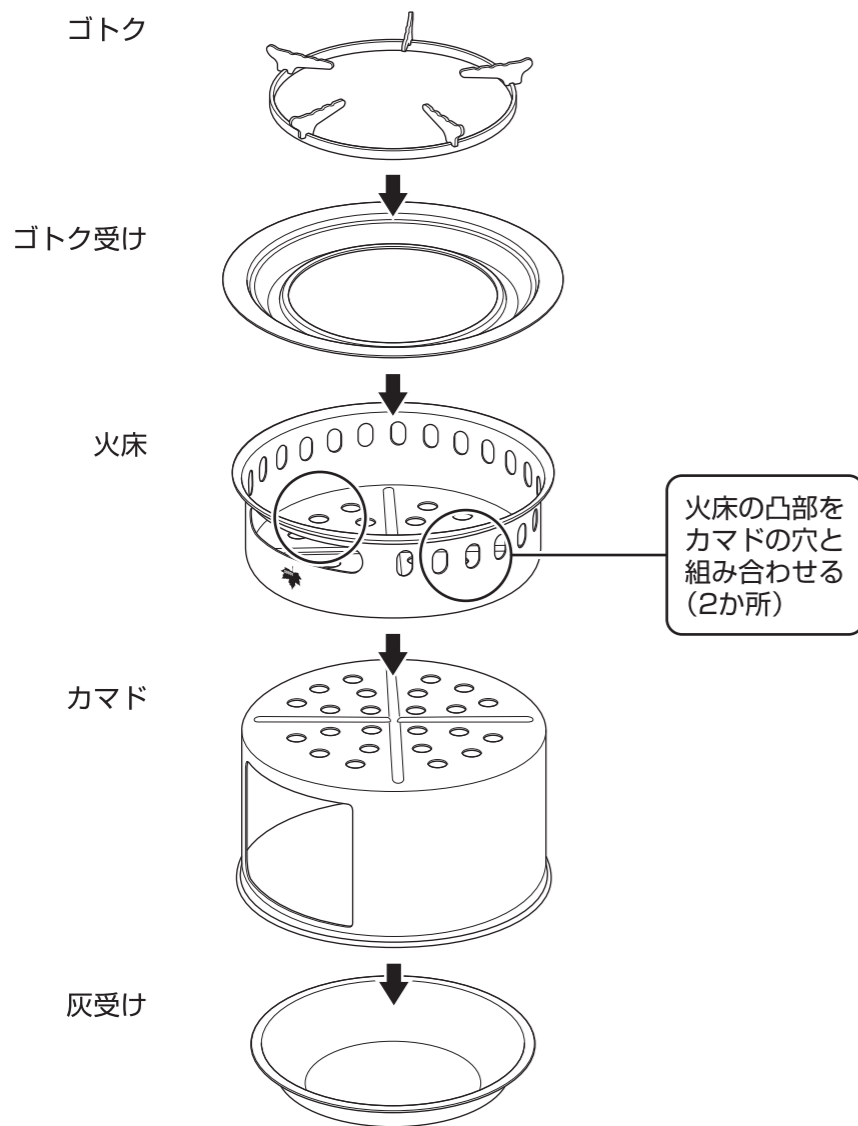
発売元: 株式会社 ロゴス コーポレーション

〒559-0025 大阪市住之江区平林南2-11-13

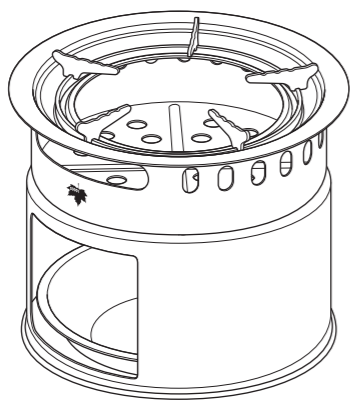
お客様専用回線 ☎ 0120-654-219 (受付時間: 平日10時~17時迄)

■ ホームページ / www.logos.ne.jp ■ 全国キャンプ場の空き情報 / www.campjo.com

【七輪スタイル/ハイポジション】

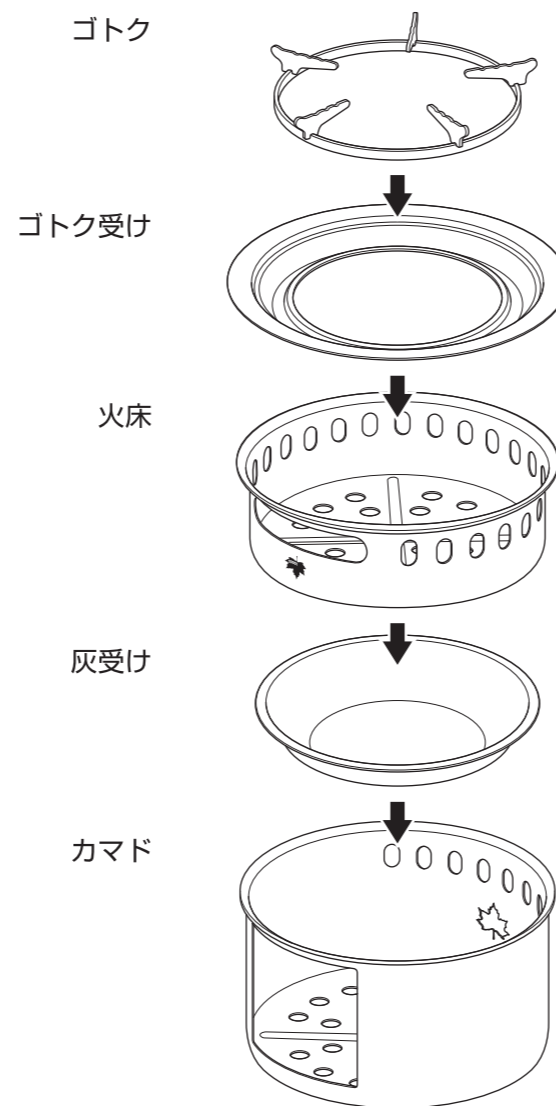


完成図

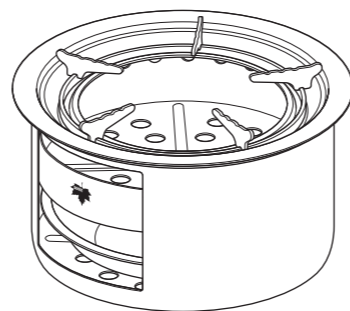


【七輪スタイル/ローポジション】

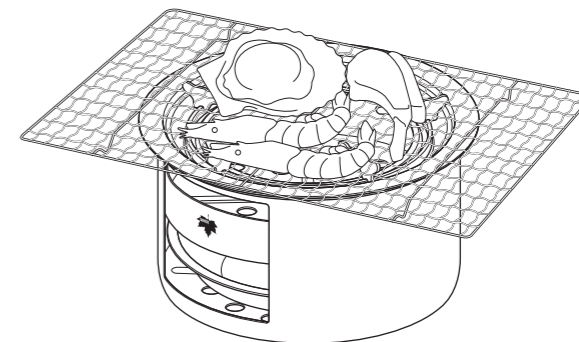
※バッグに収納する際も、下図と同様に重ねてください。



完成図



七輪料理を楽しむ！



※焼網は付属していません。

燃料について

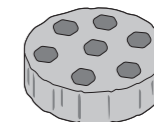


- ジェル状着火剤を使用する場合、絶対に継ぎ足ししない。(火災、やけどのおそれ)
- 使用前に、燃料のパッケージなどに記載の取扱説明書を必ず読む。

■ LOGOSエコココシリーズ(別売)を使用する

- 別売のエコココログス・ラウンドストーブ2(No.83100102)やエコココログス・タッチチャコール30(No.83100105)のご使用をおすすめします。

- ①エコココログスを並べる
 - ・火床に入れ、底と燃料の間に空気の通り道を作る。
 - ・焼網をセットする場合は、燃料と焼網が接触しないようにする。
- ②エコココログスの取扱説明書にしたがって着火する



※推奨燃料“エコココログス”は、環境にやさしく、燃焼効率の良い、森林を伐採しない環境配慮型のヤシガラ成型炭です。着火剤は不要、ライターで直接着火が可能。数分でBBQがスタートできます。

■ 市販の木炭を使用する

- ①着火剤を置く
 - ・火床の中心に着火剤を置き、その上に空気の通り道を作りながら炭を積み上げる。
 - ・ジェル状着火剤の場合は、最下部の炭上に塗る。また、地面にこぼれ落ちていないことを確認する。
- ②着火する
 - ・柄の長いライターなどで着火剤に着火する。
 - ・ジェル状着火剤の場合、着火後には絶対に継ぎ足ししない。
- ③すべての炭が着火状態であることを確認し、火床にまんべんなく広げる

Point

- 炭は、ところどころ二重になるくらいが適量です。
- 備長炭の場合は、着火状態の木炭の上に備長炭を置いて着火してください。備長炭は直接着火できません。
- 備長炭は着火時には置けることがあるため、必ず焼網で覆いながら着火し、離れて様子を見てください。